3 年 次 開 講 科 目

科目名:看護管理

単位及び時間数(配当年次):1 単位　15 時間　(3 年次前期)

授業目的及び到達目標:

看護は、対象に看護を実践して初めて成り立つ。看護師各々が安全で最もよい看護サービスを提供するためには、組織的にどのように管理するかは、医療や看護の質に影響する。

本講義では、保健医療施設における看護の組織・管理の本質を理解することをねらいとする。

回数	授業内容	授業形態	担当者
1 2 3 4 5 6 7	1．社会の変化と看護職の役割 2．協働：他者と共に活動すること 3．看護マネジメントとは 4．組織で取り組む看護活動 5．看護の質向上のための取り組み 6．看護と経営 7．業務のマネジメント 8．セルフマネジメント 9．看護専門職とキャリア	講義	副看護局長
8	単位認定試験(45 分)	筆記試験	

評価方法

評価種別	割合	詳細及び注意
筆記試験	100%	

テキスト・参考文献

テキスト：ナーシンググラフィカ　看護の統合と実践①　看護管理　(メディカ出版)
参考文献：必要に応じて資料を配布します。

科目名:医療安全

単位及び時間数（配当年次）：　1単位　20時間　　（3年次　前期）

授業目的及び到達目標:

医療職はわずかな間違いでも患者の危険に直結する職業である。患者は診断・治療上、医療行為をうけているその場に看護が関わることが多い。その分、医療事故の可能性は多くなることも考えられる。
本講義では、医療安全システムを理解し、医療安全における看護者の責務と医療安全対策について理解する。
また、自分の内に医療事故を起こす可能性があることに気づき、今までの経験をもとに医療安全のためにどうしていけばよいかについて考える機会になればよいと考える。

回数	授業内容	授業形態	担当
1 2 3	1.　医療安全と看護の理念 　1）医療安全の意味とその重要性 　　①なぜ医療安全を学ぶのか　②医療安全に関わる動向 　　③医療安全に関する基礎知識 　2）看護職の法的規定と医療安全	グループワーク 講義	専任教員
	2. 医療安全への取り組みと医療の質の評価 1)国の医療安全への取り組み 　①国の医療安全への取り組みの経緯 　②医療法における医療安全対策 2) 看護職能団体の取り組み 　①日本看護協会 　②日本助産師協会 3)国および医療団体の示す医療事故の定義と分類	講義 グループワーク	専任教員
4 5	医療事故分析・事故対策について ☆事例をもとに考える	ビデオ視聴 グループワーク	専任教員
6	3. 事故発生のメカニズムとリスクマネジメント 1)事故発生のメカニズム 　①ヒューマンエラーとは 　②人間特性　　③エラーを誘発しやすい環境 2)事故分析 　①事故の構造 　②事故分析に重要なこと 　③事故分析手法 3) 事故対策	講義 ビデオ視聴 グループワーク	専任教員
7	5. 事例分析の実際 　実際の臨地実習での医療安全 6.　危険予知訓練（KYT）	講義 グループワーク	専任教員
8 9	医療現場の医療事故への対応	講義	看護師長
10	まとめ（45分）	講義	専任教員
	単位認定試験（45分）		全担当者

☆評価方法・・筆記試験　　（専任教員：70%、看護師長：30%）
☆テキスト・・メディカ出版「医療安全」

3 年次：臨地実習

科目名	単位及び時間数	目的	実習内容(概要)	評価方法(概要)	担当者
成人看護学実習Ⅱ	2 単位 90 時間 7.5 時間/日 12 日間	急性期及び回復期にある患者の身体的・精神的変化を理解し、その変化や状況に応じた看護を学ぶ	1 週目：HCU で実習を行う 2・3 週目：市立病院 3B で実習を行う 手術室看護を学ぶ(受け持ち時 1 人)	評価表にて(合計 100 点) HCU：カンファレンス形式 3B：面接形式(中間評価あり)	専任教員
成人看護学実習Ⅲ	2 単位 90 時間 7.5 時間/日 12 日間	慢性期あるいは終末期にある患者を身体的・精神的・社会的側面から総合的に理解し、援助ができる	慢性期もしくは終末期の受け持ち患者を設定してもらう。ゴードンの 11 パターンを用いて看護過程の展開を行う。	評価表にて(100 点満点) 面接形式(中間評価あり)	専任教員
老年看護学実習Ⅰ	2 単位 90 時間 7.5 時間/日 12 日間	高齢者の身体的、精神的、社会的特徴を理解し、健康障害をもつ高齢者の看護が理解できる	受け持ち患者を設定してもらい、ゴードンの 11 パターンを用いて看護過程の展開を行う。	評価表にて(100 点満点) 面接形式(中間評価あり)	専任教員
老年看護学実習Ⅱ	2 単位 90 時間 7.5 時間/日 12 日間	A：介護老人保健施設で生活する高齢者とケアを知り、施設の特徴を学ぶ B：特別養護老人ホームで暮らす高齢者の生活とそのケアを学ぶ C:グループホームにおける認知機能が低下している高齢者のケアを学ぶ D：地域包括支援センターでの実習をとおし、高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を続けるための支援を学ぶ E：地域医療連携センターでの実習をとおし、高齢者が住み慣れた地域で安心した暮らしを続けるための支援を学ぶ	A：介護老人保健施設にて実習：4 日間 B：特別養護老人ホームにて実習：2 日間 C：グループホームにて実習：2 日間 D：地域包括支援センターにて実習：2 日間 E：市立病院地域医療連携センターにて実習：2 日間	A：40 点　面接形式 (面接内容、記録、カンファレンスの内容も含む) B：15 点(記録、カンファレンスの内容含む) C：15 点(記録、カンファレンスの内容含む) D：15 点(記録、レポート、事前学習含む) E：15 点(記録、レポート、事前学習含む)	専任教員
小児看護学実習	2 単位 90 時間 7.5 時間/日 12 日間	小児各期の成長発達をふまえ、健康を障害された子どもとその家族に対して看護を実践できる能力を身につける	1 週目：病棟にて機能別実習 2 週目・3 週目：病棟受け持ち/外来実習	評価表にて(100 点満点)中間評価は行わない。 病棟：面接形式(レポート含む) 外来：カンファレンス形式	専任教員
母性看護学実習	2 単位 90 時間 7.5 時間/日 12 日間	妊娠・分娩・産褥における母性および新生児の特徴を理解し、母子とその家族への看護を行う基礎能力を養う	1 週目：病棟にて機能別実習/外来実習 2・3 週目：病棟にて受け持ち褥婦を設定。ゴードンの機能的パターンのうち 7 パターンで展開。褥婦と新生児のアセスメントを行う。	評価表にて(100 点満点) 面接形式(中間評価あり)	専任教員

精神看護学実習Ⅰ	1 単位 45 時間 6.5 時間/日 7 日間	身体疾患をもつ患者の精神状態や置かれている状況を理解し、患者の思いに気づき支援の必要性を理解する。	受け持ち患者を設定してもらう。 2 日目から 6 日目まで看護場面での関わりについてプロセスレコードに書き起こす。 カンファレンスを通して、多様な視点から患者との関係について考える機会とする。	評価表にて(100 点満点) 面接形式 中間評価は行わない。	専任教員
精神看護学実習Ⅱ	1 単位 45 時間 6.5 時間/日 7 日間	精神障害をもつ患者との関わりを通して、対象理解への過程と看護師の姿勢・役割を学ぶ。	受け持ち患者を設定してもらう。 2 日目から 6 日目まで看護場面での関わりについてプロセスレコードに書き起こす。 2 日目、4～6 日目はプロセスレコード検討会を行う。	評価表(90 点) 記録・カンファレンスでの発言内容を含む 事前学習・事前学習試験(10 点)	専任教員
在宅看護論実習Ⅰ	1 単位 45 時間 7.5 時間/日 6 日間	1. 保健センターでの事業を通じて、地域住民の健康上のニードおよび課題を明らかにし、健康の保持・増進に関わる保健・医療・福祉の連携の実際について学ぶ。 2. 地域住民の健康の保持・増進に関わる保健・医療・福祉の連携の実際について学ぶ。	事業に参加し、運営を通しての地域住民への看護職の関わりの実際を学ぶ。 「保健事業を通じて健康問題とその取り組みについて考える」をテーマとして、実習グループでまとめ最終日に発表する。	評価表(100 点満点) 評価カンファレンス形式 (評価資料について、事前に学びをまとめておく)	専任教員
在宅看護論実習Ⅱ	1 単位 45 時間 7.5 時間/日 6 日間	在宅で疾病や障害をもちながら生活している療養者とその家族に対する看護を実践する能力を養う。	訪問看護ステーションの訪問看護師に同行し、療養者及び家族の健康に対する考え方、価値観、主体性を尊重した看護の実際を学ぶ。療養者および家族の状況に応じた社会資源の活用方法、ケアマネジメントの実際を学ぶ。	評価表(100 点満点) 評価カンファレンス形式 (評価資料について、事前に学びをまとめておく)	専任教員
看護の統合と実践	2 単位 90 時間 7.5 時間/日 12 日間	1. 看護チームの一員として様々な看護業務を体験することで、知識・技術・態度を統合し、看護実践能力を身につける。 2. 保健・医療・福祉における看護の役割と機能について視野を広げ、看護専門職者となる自覚と責任感を養う。	①複数受け持ち　②スタッフ業務　③フリー業務　の 3 つを 12 日間でローテーションを行い経験する。このうち、②③の期間の中で、看護管理・リーダー業務　を経験する。 最終カンファレンスでは『私の看護観・看護師として自分の課題』をテーマにして行う。	評価表(100 点満点) 面接形式 中間評価は行わない。	専任教員

＊留意事項：「令和 5 年度　実習要項」を熟読し、実習オリエンテーションを受けること。